

平成30年度 社会福祉法人新宮市社会福祉協議会事業報告

地域共生社会の実現に向けた社会福祉法の改正により、各市町村では包括的な支援体制の整備とそのため地域福祉計画の策定が進められています。包括的な支援体制の整備においては、「協働の中核を担う機能」が必要とされており、その担い手のひとつとして社協が考えられています。こうした社協を取り巻く環境の変化に対応するために当会としても行政や関係機関等のパートナーシップ及び地域福祉を推進する中核的な団体としての役割を再構築する機会として活動してきました。

今年度は、第三者の立場からそれぞれの事業の現状や課題点を明らかにし経営改善に向けた改善策を検討するために「新宮市社会福祉協議会経営の在り方検討委員会」を設置し検討した結果を会長に答申しました。今後はこの答申内容に基づき役職員一丸となって健全経営に向けて取り組んでまいります。

地域福祉部においては第2次地域福祉活動計画の最終年度として「人育て」「まち育て」「ネットワーク育て」を基本目標とし、生活支援コーディネーターと連携しながら新たな地域リーダーの発掘や住民同士が集まり話し合える場をつくることに取り組みました。また今年度は第3次地域福祉活動計画の策定年度でもあり、新宮市が策定する第3次地域福祉計画と連動した計画になるよう、相互に進捗状況や方向性等を確認しながら進めてまいりました。当会では計画策定にあたり市内8地区で地区懇談会等を開催し第2次地域福祉活動計画の振り返りや今後の取り組みについて住民の皆様から意見をいただきました。今後も各地区の共通した課題に住民の皆様と一緒に向き合い、長所を発展させる活動の支援やこれらの活動を推進する母体を組織することについても共に進めてまいります。

介護保険事業部においては人件費や事務費等の削減等により経営改善が見られましたが安定した経営には至りませんでした。今後も介護保険制度の動向やニーズの変化を十分に把握し、新宮市社会福祉協議会経営の在り方検討会答申に示されている「介護保険事業3ヶ年経営改善計画」に基づき安定した事業運営を目指して取り組んでまいります。

〔平成30年度重点事業報告〕

1. 経営の在り方検討会の答申に基づく事業の見直し

平成28年度に受けた経営の在り方検討会の答申に基づき、役職員を中心に事業の見直しや経費節減を行い一定の成果は見られたが事業の見直し等は市との協議も必要となり抜本的な改善にはつながらなかったため、6月に市職員や社会福祉法人の経営者等で構成される経営の在り方検討委員会を改めて設置し、平成31年1月に検討した結果について答申を受けた。

2. 第3次地域福祉活動計画の策定（2019年～2023年）

第3次地域福祉活動計画の策定にあたり、策定委員13名、アドバイザー2名計15名の委員により策定委員会を6回開催し、平成31年4月に計画を社協会長に答申しました。今回の計画では市が策定する「地域福祉活動計画」との連動性を重要視し、社協の役割を明確にするため、お互いに進捗状況や方向性を確認しながら進めました。また、各地区で地区懇談会を開催し、前回計画の振り返りや今後の地域の目指すべき姿を住民の皆様と共有しました。

3. 介護保険制度改正への対応と安定した事業への移行

地域包括ケアシステムの整備など介護保険情勢の変化や利用者を取り巻く環境の変化等、求められているニーズを考慮しながら各関係機関と連携を図り、地域に信頼される事業所となるように取り組んでまいりました。

経営面では、定期的に主任会議を開催し各部署の現状や課題、今後の方向性等を共有することで経営改善に向けての意識向上につながりました。また、人件費や公用車の廃車などの経費削減、新たな加算の取得など積極的に経営改善に取り組んだ結果、前年度より大幅な改善が見られましたが、安定した事業運営を実施していくためには、今後運転資金の確保も必要なため、「介護保険事業3ヶ年経営改善計画」に基づき健全経営に向け役職員一丸となり取り組んでまいります。

〔事業別実施報告〕

1. 会の運営と組織基盤の確立

(1) 理事会・評議員会の開催

〔理事会〕

平成30年 6月 7日

- ・ 経営の在り方検討会設置について
- ・ 平成29年度事業報告の認定について
- ・ 市民活動センター平成29年度法人全体収支決算について
- ・ 平成30年度賞与の基準支給率について
- ・ 指定訪問入浴介護事業運営規程の一部改正について
- ・ 障害者総合支援法に基づく指定居宅介護事業、指定重度訪問介護事業、同行援護事業運営規程の一部改正について
- ・ 指定居宅介護支援事業運営規程の一部改正について
- ・ 指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業運営規程の一部改正について
- ・ 指定訪問介護事業・指定第1号訪問事業運営規程の一部改正について
- ・ 弁護士との顧問契約について

平成30年 8月30日

- ・ 第1回評議員会（定時評議員会）の招集について
- ・ 社協の在り方検討会中間報告について
- ・ 平成30年度第1次収支補正予算の同意について
- ・ 運営規程の一部変更について
- ・ 理事報酬の辞退について
- ・ 平成30年度第1次収支補正予算の同意について
- ・ 第2回評議員会の招集について

平成31年 1月24日

- ・ 経営の在り方検討会答申について

- ・地域福祉事業及び介護保険事業の今後の方向性について
 - ・地域福祉基金の創設について
 - ・戦没者追悼式の市への移管について
 - ・第4回評議員会の招集について
- 平成31年 3月14日
- ・平成30年度補正予算について
 - ・介護保険事業運営基金の取り崩しについて
 - ・平成31年度事業計画・予算（案）について
 - ・地域福祉基金の取り崩しについて
 - ・社協三役の報酬について
 - ・第5回評議員会の招集について
 - ・会長、常務理事の業務執行状況について
 - ・社協の改革推進委員会の協議内容について

〔評議員会〕

- 平成30年 6月25日
- ・平成29年度事業報告の認定について
 - ・平成29年度法人全体収支決算について
 - ・指定訪問入浴介護事業運営規程の一部改正について
 - ・障害者総合支援法に基づく指定居宅介護事業、指定重度訪問介護事業、同行援護事業運営規程の一部改正について
 - ・指定居宅介護支援事業運営規程の一部改正について
 - ・指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業運営規程の一部改正について
 - ・指定訪問介護事業・指定第1号訪問事業運営規程の一部改正について
 - ・弁護士との顧問契約について
 - ・退任に伴う監事の選任について
 - ・社協の在り方検討会設置について
 - ・平成30年度賞与の基準支給率について
- 平成30年 9月20日
- ・平成30年度第1次収支補正予算について
 - ・運営規程の一部変更について

- 平成30年12月20日
 - ・社協の在り方検討会中間報告について愛の福祉金庫貸付事業並びに緊急小口資金貸付事業にかかる貸付金の償還免除について
 - ・会長、常務理事の業務執行状況の報告について
 - ・平成30年度上半期決算報告について
 - ・子育てあんしんネットしんぐう（児童虐待防止事業）の廃止について
- 平成31年 2月22日
 - ・経営の在り方検討会答申について
 - ・地域福祉事業及び介護保険事業の今後の方向性について
 - ・地域福祉基金の創設について
 - ・戦没者追悼式の市への移管について
- 平成31年 3月28日
 - ・平成30年度補正予算について
 - ・介護保険事業運営基金の取り崩しについて
 - ・平成31年度事業計画・予算（案）について
 - ・地域福祉基金の取り崩しについて
 - ・会長、常務理事の業務執行状況について
 - ・社協の改革推進委員会の協議内容について

〔監 査〕

平成30年 5月25日 ・平成29年度事業執行状況並びに一般会計について監査

(2) 三役会（正副会長・常務理事）の開催

毎月三役会を開催し、社協の運営全般にわたり協議しました。

(3) 自主財源の確保と会員加入の促進

①社協会費会員の加入状況

個人会員（1口 500円）	2, 342口	（29年度	2, 611口）
賛助会員（1口 3,000円）	215口	（29年度	252口）
特別会員（1口 5,000円）	46口	（29年度	49口）
法人会員（1口10,000円）	36口	（29年度	41口）
会費収入合計	2, 403, 000円	（29年度	2, 715, 300円）

② 共同募金配分金

赤い羽根共同募金配分金	2, 484, 422円	(29年度	3, 756, 987円)
歳末たすけあい配分金	2, 229, 415円	(29年度	1, 826, 987円)
新宮いのちの募金配分金	331, 000円	(29年度	500, 000円)
MACHIサポート募金配分金	511, 000円	(29年度	500, 000円)

(4) 職員研修等の実施

職員研修等で人権について学ぶ機会を設け、職場全体で人権意識の向上に努めました。また、経営の在り方検討会答申の内容を説明し、現在の社協の状況及び今後の経営改善に向け取り組むべきことを共有しました。

「経営の在り方検討会答申について」

講師：黒潮園理事長 岡 司氏 2月28日

「人権て難しい？～身近なことから人権を考えよう～」

講師：新宮市人権教育指導員
畑下圭喜氏 3月22日

(介護保険事業部)

- ・介護支援専門員スキルアップ研修（毎週開催）
- ・訪問介護員スキルアップ研修（毎月開催）
- ・訪問看護員スキルアップ研修（毎月開催）

[訓練]

- ・福祉センター火災想定避難訓練、消火器使用訓練 11月 2日
- ・中央児童館不審者侵入想定対応訓練 2月13日
- ・福祉センター地震津波想定避難訓練 2月25日

[会議]

和歌山県・市町村社協関係

- ・和歌山県市町村社会福祉協議会連絡協議会 平成30年度総会 4月19日
- ・平成30年度赤十字地区分区事業事務担当者会議 4月26日
- ・平成30年度市町村民児協事務担当者会議 4月27日
- ・平成30年度和歌山県市町村連絡協議会第1回紀南ブロック会議 5月10日
- ・平成30年第1回日本赤十字社和歌山県支部評議員会 6月11日
- ・福祉教育担当者会議 6月13日

- ・「平成30年7月豪雨」災害対応ブロック別派遣調整会議 7月18日
- ・平成30年度市町村社会福祉協議会事務局長会議 10月29日、12月19日
- ・平成30年度市町村社会福祉協議会会長会議 12月14日
- ・平成30年度市町村社協ボランティア・市民活動センター担当者会議 12月17日
- ・地域における公益的な取組の推進・促進検討会 12月5日
- ・平成30年度第2回日本赤十字社和歌山県支部評議員会 2月16日
- ・平成30年度紀南地方市町村社会福祉協議会事務局長連絡会 2月22日

介護保険関係

- ・平成30年度第1回社会福祉協議会における介護保険事業の在り方検討会 6月28日
- ・平成30年度第2回社会福祉協議会における介護保険事業の在り方検討会 9月28日
- ・平成30年度介護保険サービス事業者に対する集団指導 11月22日
- ・平成30年度第3回社会福祉協議会における介護保険事業の在り方検討会 12月7日
- ・平成30年度年度事業所集団指導及び障害福祉保健行政等に関する説明会議 3月20日

新宮市関係

- ・新宮市地域ケア会議 4月20日、7月6日、9月27日 3月15日
- ・新宮市地域包括支援センター運営協議会 5月31日
- ・新宮市暴力追放協議会総会・講演会 6月29日
- ・高齢者支援連絡会 8月2日
- ・新宮市介護保険事業計画等策定委員会 8月8日、10月25日、12月20日、2月7日
- ・第3次新宮市地域福祉計画策定委員会 10月18日、1月31日
- ・新宮市健康づくり計画委員会 2月21日

[研修会への参加]

和歌山県・市町村社協関係

- ・平成30年度民児協主任児童委員施設見学 5月12日
- ・第48回高野山研修（人権夏期講座2018） 8月22日～8月24日
- ・平成30年度児童委員研修会 9月18日～9月19日
- ・平成30年度和歌山県ボランティアフォーラム 10月21日
- ・平成30年度新宮市民生委員児童委員視察研修 10月23日～10月25日

- ・平成30年度主任児童委員研修会 11月21日
- ・福祉委員視察研修 12月10日
- ・和歌山県災害ボランティアセンター常設化10周年記念フォーラム 1月21日
- ・生活福祉資金担当者研修会 2月22日
- ・平成31年度新任民生委員児童委員研修会 2月28日
- ・平成30年度福祉サービス利用援助事業専門員生活支援員研修 3月5日

介護保険関係

- ・福祉サービス接遇マナー研修 4月24日
- ・平成30年度 認定調査新任研修 4月24日
- ・第21回和歌山県訪問看護連絡協議会総会並びに平成30年度第1回研修会 6月2日
- ・介護支援専門員と相談支援専門員の合同事例検討会 6月3日
- ・平成30年度 和歌山県サービス提供責任者研修 6月22日、8月28日
- ・平成30年度 第1回和歌山県認知症介護基礎研修 6月27日
- ・平成30年度 主任介護支援専門員更新研修 6月28日～10月3日
- ・平成30年度地域包括支援センター職員基礎研修 7月5日、6日
- ・平成30年度認定調査員現任研修 7月11日
- ・平成30年度訪問看護新任管理者研修会 7月13日、14日
- ・全国訪問看護事業協会 再度確認・保険請求業務 9月22日
- ・自立支援型ケアマネジメント推進事業ケアマネジメントスキル向上研修 10月1日
- ・チーム力を向上させる報告・連絡・相談 11月14日
- ・地域ケア会議アドバイザー研修 12月25日
- ・平成30年度 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 2月2日、3日
- ・みえる輪ネット事例検討会 2月24日
- ・平成30年度 和歌山県障害者虐待防止・権利擁護研修 2月27日
- ・訪問看護と現状と課題・これからの展望 3月23日

[研修会等講師・発表への派遣]

- ・平成30年度和歌山県介護支援専門員実務研修 指導者会議 4月24日
- ・平成30年度和歌山県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ 9月4日、9月25日、11月14日
- ・平成30年度和歌山県主任介護支援専門員研修更新研修 10月2、3日

- ・平成30年度和歌山県主任介護支援専門員研修 12月19日、2月20日
- (7) 人事評価の実施 全職員に対して人事評価を実施し、職員の資質の向上及び勤労意欲の向上を図りました。
- (8) 広報誌等の発行
社協広報誌「アシスト」を毎月発行（全戸配布）
- (9) 衛生委員会の開催
4月18日、6月20日、8月27日、10月17日、12月19日、2月20日 計6回開催

2. 小地域を単位とした地域福祉活動の推進（第2次地域福祉活動計画）

- (1) 各地区と地域福祉活動計画との連動
地域福祉活動計画に基づき、地区懇談会や代表者会議をとおして各地区の今後に向けての取組みを検討しました。
- (2) 各種事業の地域移行
各地区に担当職員を配置し、それぞれの地域の実情や多種多様なニーズを把握したうえで「住民主体」を主眼において活動しましたが、地域の事業として展開するには課題があります。
- (3) 各地区での「ふくし相談」の開催
各旧小学校区において月1回「ふくし相談」「巡回相談」を実施しました。

3. 第2次地域福祉活動計画の推進

- (1) 第2次地域福祉活動計画の基本目標の推進
第2次福祉活動計画の基本目標に基づき「人育て」「まち育て」「ネットワーク育て」を目指し、地域福祉活動の推進に取り組みました。
- (2) 第3次地域福祉活動計画策定委員会の開催
第2次地域福祉活動計画最終年度に当たり、次年度以降5年間の活動計画である第3次地域福祉活動計画策定委員会を開催。
9月11日、10月25日、11月19日、12月10日、1月31日、3月6日 計6回開催
- (3) 各地区地域福祉活動計画の推進（地域福祉活動の支援）

区・町内会をはじめ福祉委員、民生委員児童委員など地域の組織と連携をはかり、地域をとりまとめていく組織づくりや巡回相談による他機関との連携強化を図りました。一方では計画どおりに実施できなかった地区もあり今後の検討課題としていく必要があります。

4. 地域福祉事業の推進

(1) 小地域ネットワークづくり事業の推進

①生活支援コーディネーター事業

地域における支えあい活動の推進を目的に毎月、新宮市地域包括ケアシステム構築係担当職員との定例会を実施。また地域支えあいフォーラムを開催し、その参加者を中心に地域支えあい勉強会を開催。勉強会の中で得られた男性の活動の場が少ないという課題をもとに健康麻雀教室、男性料理教室を開催しました。

②地区懇談会、地域代表者会議の開催

第3次地域福祉活動計画の策定に向けて各地区において2次計画の振り返りと新たな課題の確認を目的に地区懇談会および地域代表者会議を開催しました。また熊野川地区においては5月30日より「チームくまのがわ」を発足し毎月地域住民が集まり意見交換や情報共有ができる場を作りました。

③区、町内会との連携

新宮市自治会連合会並びに熊野川町区長連絡協議会の総会において、社協事業への協力を依頼しました。また、新宮いのちの募金助成事業として、防災・減災を目的とした地域の見守り活動の充実を図りました。

④新宮いのちの募金助成事業

新宮いのちの募金事業を通して区・町内会が行う防災、減災を通じた地域の見守り活動に配分し、地区担当職員が活動の実施をお手伝いしました。

⑤地域福祉推進リーダーの発掘

地区担当職員が地域へ出向き、町内会長等地域の方々との交流を深め、また地域の社会資源等の実態を把握しながらリーダーの発掘に努めました。

⑥ふれあいいいきいきサロンの開催

少しでも社会的孤立感が解消されるよう、また地域コミュニティーの充実を目的に地域住民を対象に買い物サロンや茶話会、創作活動、グランドゴルフ、体操等のレクリエーションを取り入れたサロンを開催しました。

熊野川地区

12ヶ所（17地区）96回開催 参加者数750名
（29年度 11ヶ所（16地区） 102回開催 参加者数990名）

高田地区

5回開催（うち3回は買い物サロン、1回はグラウンドゴルフ大会） 参加者数約100名
（29年度 3回開催 参加者数16名）

千穂第2地区

民生委員協力のもと、ふくし相談の際に会場を活用し、近隣住民との茶話会を開催。

3ヶ所 計7回開催 参加者約30名

王子地区

福祉委員を中心にゆる体操や創作活動等を定期的に開催し住民同士による交流の場を作りました。

19回開催 参加者約435名

以上の他、各地区で福祉委員によるふれあいいいききサロンを実施。また、蓬莱地区、千穂第2地区においては民生委員や地域住民によるサロンの開催についての相談を受け、庭先サロン（蓬莱地区、2回）、仲よし広場（千穂第2地区、1回）の開催協力を行いました。

⑦一人暮らし・寝たきり高齢者激励訪問

12月14日、民生委員児童委員の実態調査をもとに、民生委員児童委員・福祉委員・社協役員により、地区ごとに近隣に身寄りのいない75歳以上の一人暮らし高齢者310名、65歳以上の寝たきり高齢者123名を訪問しました。

（29年度 一人暮らし高齢者259名、寝たきり高齢者108名）

⑧ふれあい交流事業

丹鶴地区

・2月10日 熊野速玉大社双鶴殿を会場に丹鶴地区の福祉委員、民生委員児童委員との合同による実行委員会を立ち上げ、ふれあい交流会を実施。新宮警察による特殊詐欺被害対策の講話の後、正明保育園児による歌と踊り、マジックショー、大正琴、小唄、ガラガラ抽選会を楽しみました。参加者120名

千穂第1地区

・12月9日 神倉小学校体育館を会場に、千穂第1地区の福祉委員主催でふれあい交流会を実施。はまゆう保育園児によるお遊戯や那智勝浦吹奏楽団の演奏、フラダンス、西道楽天会の民踊、カラオケ（6名）を楽しみました。参加者130名

千穂第2地区

- ・ 10月1日 橋本隣保館、2月14日 広角会館を会場に千穂第2地区福祉委員主催でふれあい交流会を実施。新宮警察による特殊詐欺被害防止対策講話や、保健所による健康講話を皆で聞き、新木保育園児による歌や踊り、フラダンス、マジックショーなどを楽しみました。

参加者 45名（橋本）45名（広角）計90名

蓬莱地区

- ・ 11月13日 蓬莱小学校体育館を会場に蓬莱地区福祉委員主催でふれあい交流会を実施。新宮市歌を全員で歌い、蓬莱幼稚園児の歌や踊り、マジックショー、フラダンス、三味線の演奏に合わせて皆で体を動かしました。参加者100名

王子地区

- ・ 平成31年1月27日 王子会館を会場に王子地区福祉委員会主催のふれあい交流会を実施。アコーディオン演奏、民謡、三味線、輪投げなどのゲームを楽しみました。参加者80名

三輪崎地区

- ・ 2月3日 佐野会館を会場に三輪崎地区福祉委員主催でふれあい交流会を実施。白梅保育園児の歌、沖縄エイサー太鼓、フラダンス、ギター・マンドリン演奏やビンゴゲームを楽しみました。

参加者 99名

高田地区

- ・ 11月3日 高田グリーンランドを会場に高田地区福祉委員会が中心となり区や学校等地域全体の協力によりふれあい交流事業を実施。高田保育所、小学校の踊りや歌、一人踊り、三味線の演奏を楽しみました。参加者60名

熊野川地区

- ・ 区長連絡協議会・熊野川公民分館・熊野川地区民生委員児童委員協議会・熊野川地区福祉委員会・ゆうゆうクラブ熊野川支部の5団体共催によるふれあい交流事業を実施しました。
- ・ 11月14日 熊野川町若もの広場にてグラウンドゴルフ大会を開催。参加者150名
- ・ 3月2日 熊野川総合開発センターで実施。参加者は地元豊優会となでしこ会の踊り、マジックショーや美熊野福祉会バンド「みやぞんず」の音楽を楽しみました。参加者130名

(2) 福祉委員活動の推進

①福祉委員登録者数 31年3月末現在 8地区合計 297名 (30年3月末現在 284名)

②地区福祉委員会正副委員長会議 年6回開催

③視察研修 30年12月10日 有田市社会福祉協議会及び地域交流カフェAGALAにて地域活動拠点とその取り組みについて研修。12名参加。

④全体研修会 30年 6月26日 「見守り活動について」 50名参加

31年 3月26日 「災害から命を守る地域のチカラ」 56名参加

⑤地区福祉委員会ごとに定例会及び研修会を開催。今年度も重点活動としてふれあいいいききサロンを実施しました。また、各地区のボランティアや地区の活動にも積極的に参加していただきました。

(3) 児童虐待防止事業の推進

「子育てあんしんネットしんぐう」（新宮市児童虐待防止連絡会）に、94の関係機関・団体が参加しています。参加協力団体のネットワークづくりとともに「新宮市要保護児童対策地域協議会」と連携した事業の企画・立案にもとづいて行事を実施しました。また当会の事業見直しに基づき市および推進委員と協議し、平成30年度をもって「子育てあんしんネットしんぐう」に関する事業は終了となりました。

① 総会の開催

5月14日 平成29年度事業報告・平成30年度事業計画について承認

3月 4日 「子育てあんしんネットしんぐう」事業廃止について

② 子育てあんしんネットしんぐう推進委員会の開催

参加協力機関・団体から選出された25名の推進委員により、年4回開催

③ 研修会の開催

5月14日 「発達障害の理解と対応」

講師：くれよんの会 河原 京子氏

7月20日 ワークランドそらにて親子参加型講座 親子で楽しもう「♪音楽療法♪」

講師：社会福祉法人 美熊野福社会 音楽療法士 橋上慶一氏

11月26日 「まちぐるみの子育て支援 今自分たちにできることを考える」

講師：認定NPO法人CPAO 徳丸 ゆき子氏

3月 4日 「事業虐待防止に関する地域のネットワークについて」

講師：新宮市子育て推進課 谷 英和氏

④ 広報活動の実施

社協広報誌「アシスト」を（全戸配布）を利用し周知を図るとともに、活動紹介をしました。

⑤啓発活動の実施

啓発バッジによる啓発を実施。参加協力機関・団体の会員がバッジをつけて平時から虐待防止・子育て支援の啓発を実施しました。

⑥児童虐待防止月間の取り組み

・垂れ幕の掲示

虐待防止の機運を高め、子育てに悩みをかかえる親を支援することを目的に11月「児童虐待防止月間」の垂れ幕を福祉センター、オークワ新宮仲之町店、城南中学校3カ所に掲示しました。

・オレンジリボンキャンペーン

新宮市保健センター、市福祉センターの来場者にオレンジリボンにメッセージを書いてもらい、ツリーに飾る活動を1ヶ月間実施。また、10月28日にイオン新宮店、スーパーセンターオークワ南紀店、オークワ新宮仲之町店にて児童虐待防止啓発物資等の配布、オレンジリボンにメッセージを書いてもらうなどの街頭キャンペーンを実施しました。

・市内の保育園（所）、幼稚園、小・中学校の全児童、生徒に児童虐待防止の啓発チラシを配布すると共に、城南中学校と協働で児童虐待防止についての授業を実施しました。

・新宮市との連携

新宮市要保護児童対策地域協議会と連携し、福祉センターの外壁に児童虐待防止月間の垂れ幕を1か月掲げ、地域全体への啓発に取り組みました。また、児童虐待防止月間時には、広い範囲にて、街頭キャンペーンなどの周知徹底に取り組みました。

(4) 福祉のまちづくり事業の実施

①障がい児激励事業

2月 3日 新宮市障害児者父母の会に協力いただき「新春お楽しみ会」を開催しました。
障がい児者やボランティアあわせて約100名が参加しました。

②戦没者追悼式

10月20日 戦没者遺族を招き福祉センターで開催しました。 120名が参列

③「愛の日」バザー

11月20日 新宮市婦人会と共催で開催。売上げ 238,931円(29年度161,170円)

④人権研修会の開催及び参加

10月13日 市民のつどい2018・ふれ愛講座を新宮市と共催で開催しました。
テーマ：「ダウン症の娘(こ)と共に生きて」 講師：金澤泰子氏

⑤ 歳末施設訪問

12月19日 紀南学園、黒潮園、温泉ハウスくまの、杉の郷「えぼし寮」、なぎの木園、第2なぎの木園、わかば園、わかば園第2作業所、寿楽荘、ワークショップ「ゆう」、障害児者支援センター「虹」、どんぐりの家、生活介護事業所「えん」、杉の郷、熊野川園の15施設を社協三役が訪問し利用者を激励しました。

5. ボランティア活動事業の推進

(1) ボランティア・市民活動センター事業

活動の異なる様々な団体が協働して誰もが住みよいまちづくりを目指すとともに、登録している団体・個人がボランティア市民活動センターに常駐し、一般市民対象の行事を開催するなどしてボランティア活動への参加促進を図っています。

・登録数 90団体（内NPO法人7）、個人32名（29年度 89団体・個人31名）

① 運営委員会の開催

12名の運営委員及び監事2名により、毎月開催（12回）

② 広報・啓発

- ・社協広報誌「アシスト」にコーナーを開設、また参加団体や社協役員に会報「結夢だより」を発送。
- ・掲示板を利用し、参加団体またはセンターの催しなどの情報提供とともにブログにて情報発信しました。

③ 交流と連携（ネットワーク）の促進

4月26日 総会・交流会

9月17日 研修会「笑顔でいきいきボランティア・市民活動」

講師 大阪ボランティア協会理事 永井美佳氏

10月21日 県ボランティアフォーラム参加（上富田町）

11月25日 登録団体・個人 交流会 グラウンドゴルフ・ハイキング

3月17日 登録団体・個人 交流会 ボーリング大会

④ 勉強会、研修会の開催

2月13日 「NPO基礎講座in新宮」

講師：特定非営利活動法人わかやまNPOセンター
センター長 志場 久起氏

⑤「しんぐう元気フェスタ」の開催

2月11日に新宮市ボランティア・市民活動センター登録団体と地元企業・事業所による協働事業として「元気！！」をテーマに新宮市福祉センターにて開催。実施にあたっては新宮市内の5企業・団体及び、新宮市、新宮市ボランティア・市民活動センター、新宮市社協による会議を2回開催。企業、26団体及び個人ボランティアが参加し27コーナーを実施。

約1,500人の参加がありました。ボランティア・企業・行政・社協が協働して取り組む貴重な機会となっています。

⑥カルチャーサロンの開催

登録団体の協力により、8サロンを計111回開催(29年度8サロン 110回開催)。

絵手紙教室,ゆる体操,布ぞうり作り,マジック教室,ちぎり絵,筆文字教室,折形等を実施しており、年々新しい参加者が増えています。

(2) ボランティアコーディネーター事業

ボランティアスクールに参加した生徒からは毎年自分の成長や立場を考え、自己実現につながるいい機会となったとの感想があります。福祉体験講座については、単発なため児童生徒の理解やその効果が見えにくいという側面もあり学校と連携し、その後授業でのあり方等把握が必要です。またボランティアの育成全般については、今後地域のニーズを把握し、その解決に向けた活動者の育成が必要です。

①ボランティアの育成

〔研修会等の開催〕

・ボランティア養成講座の開催

小・中学生を対象とした「手話教室」(第1・第3木曜日 受講者8名)

一般を対象とした「点字教室」(第2・第3金曜日 受講者8名)

〔福祉教育の推進〕

・福祉教育担当者会議

6月13日 小・中・高・支援学校と共に福祉教育を推進するための打ち合わせ会議を開催。

・福祉体験講座の開催

手話・点字・車いす・高齢者疑似体験講座などの出張講座を開催。

高等学校 2 校、中学校 2 校、小学校 4 校、地区民協 1、市役所 1 延べ 15 回開催
(29 年度 5 校 2 団体 9 回)

・ボランティアスクールの開催

7 月 24 日～7 月 27 日 中・高校生 47 名参加 (29 年度 70 名)

・小・中・高等学校との連携

② ボランティア活動の支援

・相談、活動支援

(朗読サービス)

毎月市広報誌と社協広報誌「アシスト」をカセットテープに吹き込み、声の広報として発送。

利用者 6 名 ボランティア やすらぎグループ「声」

(点訳サービス)

毎月市広報誌と社協広報誌「アシスト」を点訳し発送

利用者 7 名 ボランティア 点字ボランティア「てんとう虫」

・行政等だけで取り組めない地域課題を解決するため、ボランティアを受ける側、する側のニーズを把握するとともに調整し、相談支援を行いました。

6. 要援護者支援事業の推進

(1) 福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な高齢者、知的障がい者・精神障がい者等が地域で安心して自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きや公共料金等の支払い、通帳や証書の預かりなどの支援を行っています。また、専門員連絡会や生活支援員研修会、利用者のケース会議等へ参加し、サービスの向上を図っています。

契約件数 22 件 (高齢者 5 名、知的障がい者 12 名、精神障がい者 3 名、その他 2 名)

(29 年度契約件数 24 件)

(2) 生活困窮者支援事業への協力

ふくし相談等を利用して、市福祉課と生活困窮者支援に関する情報共有等を行いました。

(3) ふくし相談 (旧小学校区 8 地区で開催) 相談件数 175 件 (29 年度相談件数 193 件)

(4) 福祉車両・車いすの貸出事業 貸出件数 福祉車両 82 件 (29 年度 134 件)

車いす 85件(29年度121件)

(5) 紙おむつ半額助成事業

新宮市から紙おむつの給付を受けている方で社協会員を対象に実施。利用者数5名(29年度7名)

(6) 貸付事業の実施

・生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

低所得者世帯の生活の安定と経済的自立を図るために和歌山県社会福祉協議会からの受託事業として実施しています。

貸付件数5件 3,611,604円を貸付(29年度 3件 2,752,284円)

・緊急小口資金貸付事業

10万円を限度に低所得者に貸付しています。

貸付件数3件 105,000円を貸付(29年度 0件)

7. 災害時対応事業の推進

(1) 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

3月10日 千穂第1地区を災害想定地区として災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施。地区の町内会長、民生委員児童委員、福祉委員、単位老人クラブ、ボランティア市民活動センター等を中心に協力を呼びかけ、センターの主たる役割であるボランティアの受け入れやニーズの聞き取り、ボランティア派遣などの一連の流れを模擬体験の形式にて実施。また防災グッズの点字や防災食体験も実施しました。

参加者 約100名

(2) ボランティア・市民活動センターとの連携

災害ボランティアセンター設置運営訓練時に活動ボランティア、運営ボランティアとしての協力をしていただきました。

(3) 和歌山県社会福祉協議会(和歌山県災害ボランティアセンター)との連携

西日本豪雨災害発生時にボランティアセンター運営スタッフの派遣依頼に応じて8月9日~8月13日の期間職員2名を派遣。その後の振り返り会に参加協力を行いました。

(4) 県下市町村社会福祉協議会における災害時の相互支援

平成24年1月30日に締結された「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」によって県内の市

町村社協と災害時の相互支援について取り決めています。また、毎年和歌山県市町村社協連絡協議会災害時の相互支援活動積み立てとして拠金しています。

(5) 有事に備えた必要資機材・物資等の備蓄管理

備蓄倉庫を借り、平成23年度から備蓄している資機材を管理しています。また倉庫の移転に伴い資機材の整理を行いました。

8. 善意銀行の運営

730,107円(45件)の寄付金を受入れました。一般預託 730,107円、指定預託 0円
(29年度 730,020円 42件 一般預託 720,020円、指定預託 10,000円)

9. 福祉サービスにおける苦情解決第三者委員会の運営

・第三者委員による検討事案はありませんでした。

10. 福祉関係団体との連携

(1) 民生委員児童委員協議会との連携

- ・子育て支援事業「子育てサロン」、「おやこサロン」の開催に協力(新宮地区…年4回、熊野川地区…年9回)
- ・生活福祉資金貸付け審査及び償還調査の依頼(30年度 貸付審査4件)
- ・一人暮らし・寝たきり高齢者激励訪問事業の共催

(2) 老人クラブ連合会(ゆうゆうクラブ)との連携

- ・老人クラブ活性化の推進
 - ・生きがいと創造の事業の推進
- | | | | |
|--------|------|-----|------|
| 生きがい教室 | 12教室 | 受講者 | 356名 |
| はつらつ教室 | 5教室 | 受講者 | 60名 |
| 老人菜園 | 2カ所 | 利用者 | 69名 |
- ・愛の日ゆうゆうクラブ芸能大会への協力 11月 8日 出演13組 371名参加

(3) 赤十字事業への協力

- ・日赤活動資金募集 お願い額 4,530,000円に対し、実績額 3,499,555円
(29年度 実績額 4,079,961円)

(4) 共同募金運動への協力

- ・赤い羽根共同募金運動

募金が地域の活動に活かされ自分たちのまちを良くするために3つの募金活動「ささえ愛募金」「MACHHIサポート募金」「新宮いのちの募金」を実施しました。

目標額 4,500,000円に対し、実績額 3,759,215円

(29年度 実績額 4,118,422円)

- ・歳末たすけあい運動 1,715,199円の募金があり、2,229,415円を配分
(29年度 1,813,616円の募金があり、1,826,987円を配分)

【配分内訳】

福祉施設(5施設)	230,000円
ボランティア市民活動団体(13団体)	530,000円
歳末施設訪問事業	731,530円
一人暮らし・寝たきり高齢者激励訪問事業	495,920円
事務費	80,410円
障害児激励事業(新春お楽しみ会)	161,555円
合計	2,229,415円

1.1. 指定管理者制度(受託事業)の推進

(1) 福祉センター管理運営

福祉センター貸館業務

高齢者の生きがい教室や研修会等への貸館業務を実施。

延べ利用者 39,211名(29年度 39,319名)

高齢者入浴サービスの実施

福祉センターの浴室を毎週開放(火曜日女性、金曜日男性)

延べ利用者 1,012名(29年度 1,210名)

(2) 中央児童館の運営

子どもの健やかな育成を図るため、日々の遊びを通しての個別的指導の他、野外での自然体験活動や異世代間の交流事業、集団でのクラブ活動、季節行事など様々な遊びを通して、健全に発達していくよう支援をしています。

① 運営委員会の開催（運営委員 8 名）

6 月 8 日 平成 29 年度活動報告並びに平成 30 年度事業計画他について承認

② 利用状況

登録人員 572 名 年間延べ利用者数 17,916 名・開館日数 237 日 1日平均 76 名
(29 年度 607 名 年間延べ利用者数 23,764 名・開館日数 234 日 1日平均 89 名)

③ 主な事業内容（ ）は参加人数

・ 自然とのふれあい活動の実施

魚のつかみどり（31 名）・バスハイキング（27 名）・ハイキング（27 名）

・ 世代交流活動の実施

ゆうゆうクラブ女性部と交流ふれあいおはぎ作り（37 名）

・ 創作活動や季節行事の実施

七夕のつどい（32 名）・お月見のつどい（38 名）・クリスマスお楽しみ会（51 名）

新春かるた大会（21 名）・コマ回し大会（12 名）・餅つき大会（48 名）

節分のつどい（23 名）・ひな祭りのつどい（29 名）

・ クラブ活動を通して集団的援助活動

週 2 回実施（スポーツ・パッチワーク）・週 1 回実施（卓球・ミニバスケット）

月 2 回実施（わくわく・お絵かきアトリエ） 6 クラブ

・ 未就園児の親子を対象にした子育て支援活動の実施

親子であそぼうクラブ（20 回実施 延べ 168 組 336 名）

・ 防災活動の実施（避難訓練の実施）

避難訓練（火災、地震、不審者侵入想定訓練の実施）

・ 市児童館や子育て関係機関との連携

ふれあい遠足(26名)・みんなであそぼう(9名)・ドッチビー大会(13名)
卓球交流練習試合(4名)

・体験活動

みそ作り体験(29名)・かき氷体験(7日間延べ458名)

・その他の事業

- ・ 毎大福作り(47名)・おたのしみひろば(80名)・ドッチビー大会(48名)
- ・ ミニ映画会(102名)・オセロ大会(16名)・将棋体験(8名)
- ・ ミニ運動会(35名)・こどもまつり(450名)・チャレラン大会(39名)
- ・ あそび大作戦(25名)・人権研修会(保護者対象 7名)・おはなし会(5回実施延べ33名)
- ・ 作ってあそぼう(6回実施延べ103名)

12. 介護保険事業の運営 内・・・29年度実績

(1) 居宅介護支援事業(ケアプランの作成)

・ 居宅介護計画(ケアプラン)作成件数

1,911件(月平均 160件)

2,987件(248件)

(2) 訪問介護事業(ホームヘルプサービス事業)

月平均利用者数 121名

135名

月平均訪問時間 2,907時間

3,340時間

(3) 訪問入浴介護事業(移動入浴車派遣による入浴介護事業)

月平均利用数 14名

16名

派遣回数 501回(月平均 42回)

587回(49回)

(4) 訪問看護事業(医療含む)

月平均利用者数 36名

57名

訪問時間	2, 520時間 (月平均 210時間)	4, 531時間 (337時間)
(5) 障害者総合支援居宅介護事業 (障害者ホームヘルプサービス事業)		
・新宮ステーション	月平均利用者数 65名	67名
	月平均訪問時間 901時間	1, 212時間
(6) 介護認定訪問調査の受託		
調査件数	24件 (月平均 2件)	163件 (14件)
(7) 介護予防サービス事業		
①介護予防支援 (ケアプラン) 作成件数	777件 (月平均 64件)	1, 051件 (87件)
②介護予防訪問介護		
・新宮ステーション	月平均利用者数 118名	125名
	派遣回数 10,675回	11,616回
③介護予防訪問看護		
月平均利用者数	14名	16名
月平均訪問時間	51時間	48時間
(9) 熊野川地域包括支援センター		
相談件数	248件	184件
指定介護予防支援	84件 (月平均 7件)	291件
介護予防ケアマネジメント支援	180件 (月平均 15件)	
(10) 特定相談支援事業・障害児相談支援事業の実施		
利用者数	72名	70名

計画策定	79件	72件
モニタリング	483件	384件
(11) にこにこサービス事業(介護保険外制度外サービス)		
・新宮ステーション	月平均利用者数 11名	14名
	月平均訪問時間 65時間	96時間
(12) 地域介護相談や介護教室の開催		
①介護相談		
毎日相談を受けています		
	新規相談件数 41件	71件
②介護教室		
・新宮市理容組合の依頼により、ベッドから車椅子への移乗方法等の研修会に講師としてヘルパーを派遣。		
(13) 和歌山県介護人材確保対策事業(新翔高等学校初任者研修講師派遣)		19名

平成30年度

事業報告書
一般会計収支計算書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

社会福祉法人

新宮市社会福祉協議会